

Essay

Sapiarc.com

2017年10月31日(2017-3)

北朝鮮と原爆について

半年以上の間、エッセイを書いていなかった。これは、私の体調が落ち込んでいたからだ。書く題材はいろいろあったが、物を書くためには、十分な気力と体力が必要だということを今回はじめて悟った。現在、気力はあるが、残念ながら体力はまだ元どおりにはなっていない。しかし、物を書くことによって、体力を付けることができるかもしれないと思うようになったので、このエッセイを書くことにした。

北朝鮮が大陸間弾道ミサイル ICBM とそれに搭載できる原爆の開発に力を注いでいる。これは国連の度重なる決議に明らかに違反しているから、強く非難されて然るべきものだ。安倍晋三首相は、これを「国難」と呼んでいる。私には、この言葉の使い方には抵抗がある。北朝鮮が日本を標的にしてミサイルを発射すると言ったことはないはずだからだ。北朝鮮がアメリカに対して核攻撃をすれば、それに対して何倍もの報復を受けることは間違いない。それは自明のことではないだろうか。北朝鮮がそういう無謀なことをするはずはないだろう。

アメリカやロシアは数千発の原爆を保有しており、それらを減らすことに一旦合意したが、現在その動きは止まっているようだ。オバマ前大統領は核戦争の脅威から世界を解放しようという政策を掲げた。これに対して、オバマ氏はノーベル平和賞を受賞したが、実際には、この問題について目に見える成果を挙げることはできなかった。オバマ政権下でもアメリカは地下核実験を継続していたので、言行不一致だと言われても仕方がなかった。

非核保有国に核攻撃をしかけることは、現在の世界では考えにくいと思う。核兵器使用の非人道性は余りにも明白だからだ。唯一の原爆被爆国の日本は、核兵器の使用によって、実際にどういったことが起こったかを世界に知らせる努力をもっともっとなさなければならないと思う。

そのためには、日本人自身が、広島と長崎で起こったことを絶対に忘れないようにしなければならない。学校教育で、このことについて相当な時間を割くことが必要だと思う。現在、小学校から高等学校までの授業で、どれほどのことが行われているか、私は知らない。本その他のメディアも、この問題にきちんと取り組むことが必要だ。原爆による被害については、これまでに多くの本が出版されてきたが、出版から時間が経っているものは、それらを入手することは必ずしも容易ではなくなっている。

最近(2017年7月)出版されたものとして、NHK スペシャル取材班「原爆死の真実/きのこ雲の下で起きていたこと」は読むに価するものだ。これは、2015年8月6日にNHK総合テレビで放送されたNHK スペシャルのために取材されたものもとにして、その後に行われたインタビューの結果などを加えて書かれており、原爆投下直後にどういったことが起こったかをできる限り再現しようとしたものだ。

原爆の開発の段階から原爆投下に至るまでの、アメリカ、ドイツ、日本で状況と同時に進行的に描いたものとしては、半藤一利・湯川豊「原爆の落ちた日」【決定版】(2015年7月、

PHP 文庫) がわかりやすい。原爆開発のためにアメリカが払った努力は巨大なものだったが、その結果は北朝鮮にうまうまと利用されたであろうことは皮肉である。

北朝鮮は何をしようとしているのだろうか。北朝鮮とアメリカ・韓国は 1953 年 7 月 27 日以来ずっと休戦状態にある。戦争状態が終結するための平和条約が締結されたわけではない。そもその発端は、北朝鮮軍が 1950 年 6 月 25 日に突如として韓国に侵入したことであり、その目的は朝鮮半島に統一国家を建設することであった。不意を突かれた韓国は混乱し、韓国に駐留していたアメリカ軍にも戦争の準備はできていなかったため、一時は、北朝鮮の意図が達成できそうなどころまで行った。しかし、まだ連合国の統治下にあった日本で連合国最高司令官であったマッカーサーの指揮のもとに、アメリカ軍が韓国の仁川に上陸作戦を敢行し、その結果、北朝鮮軍は敗れた。その後、義勇軍と称して中国軍が介入したため、38 度線を国境とする休戦協定が成立して、今日に至っている。

私は、北朝鮮は朝鮮に統一国家を建設するという目的を放棄していないと思う。したがって、韓国（北朝鮮から見れば南朝鮮）を自国に組み入れたいのだが、そのための本格的な軍事行動を起こすと、アメリカから核攻撃を受ける可能性があると思っている。前記のように、現在の世界で非核保有国が核攻撃を受けることはないだろうが、北朝鮮は、そうは思っていないのだろう。だから、核攻撃に対して報復する核攻撃の能力を持ちたいのだ。そうすればアメリカは核攻撃をすることができなくなる。

北朝鮮は、通常の軍事行動で韓国を征服するために、不断に軍の能力を高める努力を行っていると思う。また、多数のゲリラを韓国に投入して、実質的に韓国の機能を止めることも計画している可能性もある。このような事態が起きたときに、韓国がどう対処するか、私にはわからないが、感じとしては、韓国が明確な対応策を持っているようには見えない。これは、私には理解できないことだ。現在、国連の決議に沿って、北朝鮮に経済的な圧力を強めることが

始まっている。もし中国が本格的に圧力をかけると、北朝鮮はじり貧になることは間違いないので、その前に暴発することは大いにあり得る。

北朝鮮は世界から孤立している。この点で、現在の北朝鮮は太平洋戦争前の日本に似ている。日本が太平洋戦争に突入したとき、日本には勝てるという確たる見通しはなかった。しかし、アメリカが日本に石油の輸出を止めたことによって、真珠湾攻撃を行った。これに似たことを北朝鮮がすることは、大いにあり得ると思う。それは当然日本にも大きな影響を与える。それは、まさに国難と言えものになるだろう。（おわり）